



狛江支部岩戸南第二分会

【狛江・設計・知見孝一 通信員】岩戸南第二分会は狛江市の東の端、世田谷区に隣接する所属人数121人(10月1日現勢)の分会です。協働・

協力をモットーに、現委員長及び第3代委員長を輩出。分会活動は地域との交流を大切に、地元商店街と協同して、大規模なイベントを長年続けてきましたが、大型スーパー

会場比べでは優勝

・演出などに工夫を重ねてきました。新しい住民や子どもたちに分会独自のワークショップを配った教室開催のチラシを配ったり、事前に会場の演出など



事前に当日会場へ来て、子どもたちが木箱を持って参加している様子

を進めてきました。時間を掛かりましたが、年を追うごとに子育て世代の来場者が増え、東京土建と新しい住民の方々の交流が生まれました。狛江支部では毎年住宅デーの会場コンテストを行っていますが、今年是我分会が念願の一位を獲得しました。

また分会のイベントとしては、分会旅行を不定期ですが行なっており、昨年は狛江支部内でもあまりない一泊旅行を企画して、茨城や千葉を巡り、水郷潮来のあやめ園を見学したり、昭和天皇が皇太子時代に利用したという、銚子犬吠崎温泉の暁鷗館に宿泊して懇親を深めました。

このような分会ですが、課題も少なくありません。高齢化・区域外の組合員との対話・町場職人の減少による拡大の困難などです。BQ・旅行など交流の存続も懸念されますが、皆で知恵を出し合いながら、若い世代に引き継ぐ努力を続けていきます。



水郷筑波国定公園にてあやめを觀賞

砂場をフル活用 タチヒで結成50周年を祝う



〇×ゲームは全員参加で盛り上がる

【八王子・書記・久保田倫行記】11月10日、立川にあるタチヒビーチにて、支部結成50周年イベント「〇×ゲーム」を開催。塩野実行委員長、矢吹支部執行委員長、渡辺本部副委員長から拡大などの激励の言葉をいただきました。

今回はバーベキューをして交流をするだけでなく、砂場を活用した「宝探しゲーム」

荒川 BBQで親睦深め 「次回も参加したい」

【荒川・空調設備・大橋正博記】11月17日に後継者対策

や「ビーチサンダル飛ばし」、全員参加型の「〇×ゲーム」など多くの企画を行いました。また、組合内事業所に勤める組合員であり、パリオリピックなどを目指しているビーチバレー選手の「もかはる」の2人による、デモンストレーションを行ないました。なかなか見ることができない「生」の迫力に歓声があがりました。

最後に行なわれた大抽選会では、今回の目玉となる「50周年」にちなんだ「50型テレビ」が1等賞品ということもあり、終始大盛り上がりでした。拡大月間から各分会が競い合うように参加者確保を旺盛に進め、350人以上の仲間参加で支部結成50周年を祝いました。

葛飾 住宅まつりに千人 協力作業の大切さ学ぶ

【葛飾・書記・沼美幸通信員】11月17日、青戸平和公園で、秋の「住宅まつり」を開催。晴天に恵まれ、当日は1000人が来場しました。

今年初のもので、墨田支部のハンマース講師を迎えて訓練を行ない、葛飾区の防災訓練でも披露しました。救助の際は「声を掛け合う」「担架で運ぶときは足から運ぶ」など、及川副委員長による解説付きです。担架で運ばれる体験やジャッキの体験も行ない、呼びかけると子どもたちが参加してくれ



救助活動は呼吸が合わないと言ったジャッキの高さも合わない

しました。ジャッキの体験では、両側の呼吸が合わずに上がる高さが必要に。声を掛け合い、協力することの大切さを感じました。



家族参加者を楽しみ、12月に開催予定のクリスマスパーティーへの周知を行ないました。参加者アンケートでは、「また次回も参加したい」「はじめて参加したが楽しかった」などの感想が寄せられました。



上棟式でのお菓子まき

多摩・稲城 パルテノンで50周年 市長にご当地アイドルも

【多摩・稲城・書記・鈴木寛次通信員】11月10日に多摩・稲城支部主催の「50周年記念とげんまつり」を開催しました。会場は昨年引き続き多摩センター駅近くのパルテノン多摩前広場で盛大に行ないました。

天候に恵まれた当日は地元多摩市の阿部裕行市長のほか、ミニ上棟式でのお菓子まき、の他にも多くの企画は来場者に大好評でした。東京土建のキャラクター「どけんたろう」も応援に駆け付け、子どもたちに囲まれて笑顔が絶えない一日になりました。昨年に続き、多くの来場者

に地域の建設職人「東京土建」のアピールをすることができました。今回は櫻井委員長も所属する稲城阿波踊りや多摩市で活躍するご当地アイドルの登場もあり、多くの来場者で賑わいました。支部創立50周年の節目を晴天のもと、大成功で終えることが出来ました。